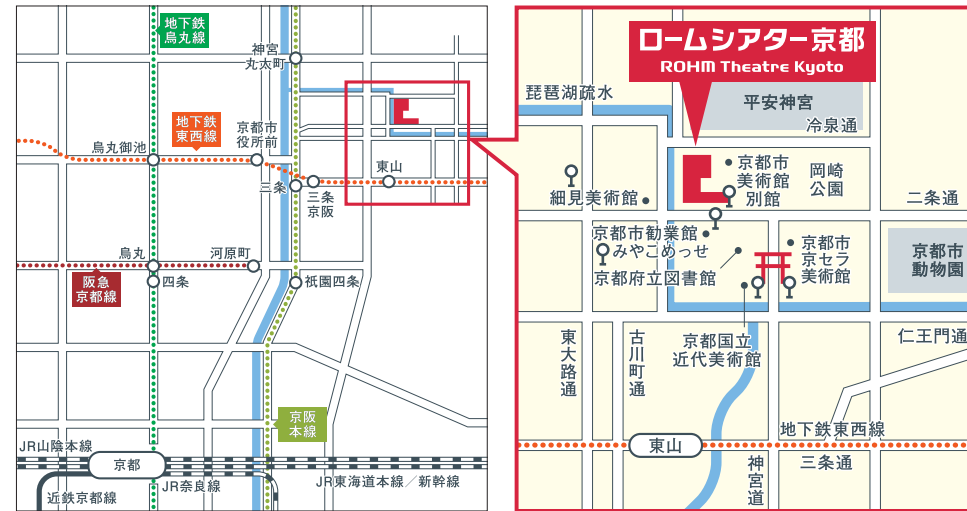


会場案内

● ロームシアター京都 (京都市左京区岡崎最勝寺町13)



JR京都駅から



- 京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車 1番出口より徒歩約10分
- 市バス32・46系統「岡崎公園ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車すぐ
- 市バス5・86系統「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車徒歩約5分
- 市バス31・201・202・203・206系統「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約5分

● 京都経済センター (京都市下京区四条通室町東入函谷鈴町78)



- 京都市営地下鉄烏丸線「四条駅」北改札出てすぐ
- 阪急電車京都線「烏丸駅」26番出口直結



参加申込

【受付期間】5月20日(月)～6月30日(日) **7月15日(月)まで延長**

【参加費】

教育関係者・一般 **2,800円**
 京都府内の教育関係者・一般 **1,000円**

【お申し込み方法】

NIE全国大会京都大会専用サイト
<https://nie-kyoto.com/>



【大会プログラム・発表に関するお問い合わせ】

大会実行委員会事務局(京都新聞社内)
 TEL.075-241-5289(受付時間 平日10:00～17:00)
 日本新聞協会 新聞教育文化部NIE担当
 TEL.03-3591-4410(受付時間 平日9:30～17:30)

【参加・宿泊申込に関するお問い合わせ】

大会実行委員会事務局(京都新聞企画事業株式会社内)
 TEL.075-213-8130(受付時間 平日10:00～17:00)

Newspaper in Education
 教育に新聞を

第29回

NIE全国大会京都大会

探究と対話を深めるNIE
 デジタル・多様性社会の学びに生かす



2024年



8月1日(木)／ロームシアター京都
 8月2日(金)／京都経済センター

【主催】日本新聞協会

【共催】京都府教育委員会、京都市教育委員会

【後援】文部科学省、日本NIE学会、文字・活字文化推進機構、全国学校図書館協議会、理想教育財団、京都府公立高等学校長会、京都府公立中学校長会、京都府小学校長会、京都府私立中学高等学校連合会、京都府私立小学校連合会

【主管】京都府NIE推進協議会、京都新聞社



8月1日(木) 開会式・全体会

会場 | ロームシアター京都 メインホール



12:00	受付／開場
13:00 ～	歓迎公演 六斎念仏踊り 京都市中堂寺六斎会・京都市立光徳小学校児童
13:30 ～	開会式
13:50 ～	基調講演「刷り物の字が教えた日本」 磯田道史（いそだ・みちふみ、歴史家・国際日本文化研究センター教授） 略歴：1970年岡山市生まれ。慶応大大学院文学研究科博士課程修了。博士（史学）。茨城大助教授や静岡文化芸術大教授、国際日本文化研究センター准教授を経て、2021年4月から現職。専門は日本近世史。著書は「近世大名家臣団の社会構造」「無私の日本人」「感染症の日本史」「日本史を暴く」「歴史のミカタ」「徳川家康 弱者の戦略」「家康の誤算」など多数。NHKBSプレミアム「英雄たちの選択」の司会を長く務めるほか、10年に著書「武士の家計簿」が、16年には「無私の日本人」1編目の「穀田屋十三郎」が「殿、利息でござる!」のタイトルでそれぞれ映画化。18年に大河ドラマ「西郷どん」の時代考証も担当するなど、多方面で活躍している。豊富な知識と明るい語り口で歴史を立体的かつ表情豊かに解説、世代を問わずファンが多い。
	休憩
15:20 ～	基調提案 橋本祥夫 大会実行委員長 会場のみんでミニ「まわしよみ新聞」ワーク ※いつのどの新聞でもいいので、参加者は各自1部ずつご持参ください パネルディスカッション 「きょうを読み、あすを解く（NIEの歴史と可能性）」 【進行役】宮澤 之祐（日本新聞協会NIEアドバイザー、元京都府・市中学校社会科教諭、元神戸新聞記者） 【登壇者】林 潤平（京都市学校歴史博物館学芸員、京都先端科学大学・京都女子大学など非常勤講師） 長澤 江美（スマートニュース メディア研究所研究員、インターネットメディア協会リテラシー部会） 神崎 友子（京都教育大学附属桃山中学校主幹教諭、日本新聞協会NIEアドバイザー）
17:00 ～	日本新聞協会 NIE 学習効果調査の報告 次回開催地主管社・神戸新聞社あいさつ

※開場時間中（12:00～18:00）、全国の新聞社によるデジタルサービス、NIE やリテラシー教育に役立つ教材や書籍の展示・紹介コーナーを開設



8月2日(金) 分科会・ポスターセッション・企画展・全国NIEアドバイザー会議

会場 | 京都経済センター内
2F京都産業会館ホール、3・6・7F各会議室

8:20	開場	
9:00 ～	分科会 第1部	9:00～14:00 発表交流 (ポスターセッション、企画展)
10:30 ～	休憩	
11:00 ～	分科会 第2部	2F 京都産業会館ホール 中室
12:45 ～	閉会式 2F京都産業会館ホール 北室	
14:00 ～	全国 NIE アドバイザー会議 2F 京都産業会館ホール 南室	

※大会参加者はアドバイザー会議を傍聴できます



8月2日(金) 分科会プログラム

第1部 【9:00～10:30】	
特別分科会 A	京都のNIE史 発表者：林潤平（京都市学校歴史博物館学芸員） 木村信浩（京都府立田辺高等学校教員）ほか 「昔から」が、実は最先端！
小学校 公開授業 B	比べよう！探ろう！新聞の効果的な伝え方 京都市立御所南小学校 4年 科 目：読解の時間 授業者：森川亜里沙 教諭 祇園祭の魅力を新聞で発信！
中学校 公開授業 C	難民、戦争… 視点を変えて考える未来 八幡市立男山東中学校 1年 科 目：社会科 授業者：志村五郎 教諭 過去から未来へアプローチ！
中・高校 公開授業 D	多様性を問う 新聞記事のジェンダー表現 京都先端科学大学附属中学校高等学校 中学3年、高校1・3年 科 目：論理国語 授業者：伊吹侑希子 司書教諭 ニュースパークの企画展と連動！
小学校 実践発表 E	読み書き交流する「デジタル新聞」 これからのNIE 京都教育大学附属桃山小学校 科 目：国語科、社会科、メディア・コミュニケーション科 発表者：井上美鈴 教諭 小学校版情報科「メディア・コミュニケーション科」に注目！
高校 実践発表 F	SDGs視点で今を捉え「自分ごと」発信 京都府立東宇治高等学校 科 目：総合的な探究の時間、進路指導 発表者：小林未来 教諭 新聞を手がかりに地域からはじめる探究！
高校 実践発表 G	地理探究×新聞記事で現代社会にアプローチ 京都市立塔南・開建高等学校 科 目：地理探究 発表者：中村顕 教諭 「コアスキルカード」なるものは同校が考案！

【9:00～14:00】

発表交流

2F京都産業会館ホール 中室

◆ポスターセッション

NIEに取り組んでいる人、進めていこうとしている人、アイデアや手法を持っている人やグループが説明し、参観者の助言や感想、質問を受けて対話で深める双方向の交流の場。発表者の応募は6月末まで。

◆企画展「多様性 メディアが変えたもの メディアを変えたもの」

ニュースパーク（日本新聞博物館）が2023年4月～8月に開いた企画展の一部を抜粋して展示。大会実行委員会とニュースパークの共催による今回の巡回展は、京都の教育実践も含め、ジェンダーに関わる内容を中心に展示。

※大会の関連行事として、上記「多様性」企画展の一部巡回展を8月5日（月）～30日（金）に世界人権問題研究センター（京都市下京区下之町、京都市立芸術大学A棟7階）でも、同センター共催で開きます。平日の10:00～17:00

※大会終了後に一部を動画配信予定です <敬称略>

第2部 【11:00～12:30】

特別分科会 H	子ども新聞、子ども記者活動 発表者：京都各地・全国各地の子ども記者や経験者たち 新聞づくり・分科会運営も子ども主体で！
中学校 公開授業 I	「対話×デジタル」新聞を活用した文学作品の読み 京都市立西京高等学校附属中学校 2年 科 目：国語科 授業者：矢倉裕也 教諭 随筆の読解に4種類のデジタル新聞とアーカイブスを活用！
中学校 公開授業 J	原子力災害の今・自分事として考えるということ 京都女子中学校 3年 科 目：探究 授業者：湯浅美穂 教諭 福島の高校生と京都の中学生による共同宣言
小学校 実践発表 K	取材力、表現力を伸ばす「新聞」フル活用 京都市立羽束師小学校 科 目：国語科、社会科、総合的な学習の時間 発表者：古田祐子 教諭（研究主任）、河内雄策 教諭、廣岡希美 教諭 カリキュラム・マネジメントにNIEのエッセンスを！
小学校 実践発表 L	地域で取材・交流「柏原平和池水害」と私たち 亀岡市立詳徳小学校 科 目：総合的な学習の時間 発表者：東哲平 教諭 探究活動を児童が会場でプレゼン！
小学校 実践発表 M	新概念を提示「売れる新聞」児童が考案 AIC国際学院京都初等部 科 目：探究（Inquiry） 発表者：田口直也 教諭 インターナショナルスクールのNIE！
中学校 実践発表 N	「オピニオンタイム」 継続と対話が引き出す言葉の力 綾部市立八田中学校 科 目：総合的な学習の時間、国語科、図書館教育 発表者：船越寿子 教諭 小規模校・転勤後の実践、学校・地域が一体で！
高校 実践発表 O	染め、社寺、スポーツ…「探究京都」を新聞で発信 京都府立聾学校高等部 科 目：総合的な探究の時間 発表者：橋本尚也 教諭 生徒の「広め隊」にNIEを導入！